

Panasonic®

取付説明書

設置と接続

ポータブルDVDカーナビステーション

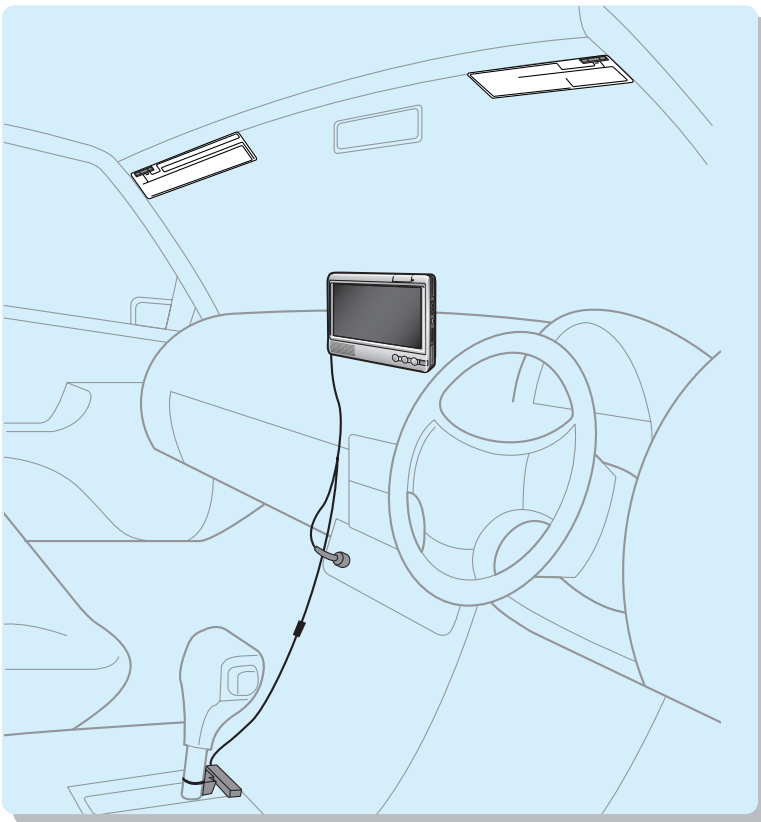


Strada

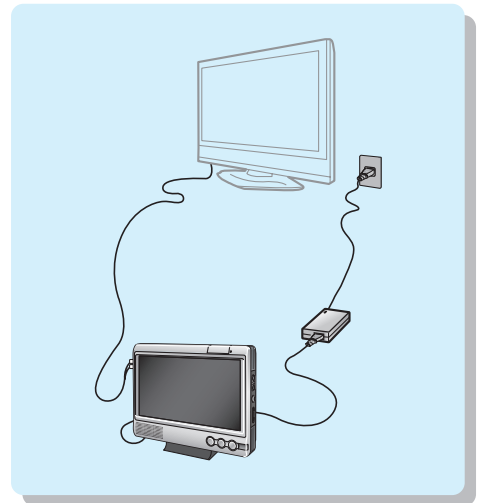
品番

CN-DS120D-K

SDカードスロット・
DVDビデオ再生機能付き



—取付例 (車内用)—



—接続例 (室内用)—

取り付け・配線の前に、別冊の取扱説明書の「安全上のご注意」(P.6~11ページ)を必ずお読みください。

お客様へのお願い

本機の取り付け、配線には専門の技術と経験が必要です。安全のため、必ずお買い上げの販売店にご依頼ください。

販売店様へのお願い

本機の取り付け後、この取付説明書は必ずお客様へご返却ください。

この説明書は再生紙を使用しています。



この説明書の印刷には、植物性大豆油インキを使用しています。

内容物の確認

万一不備な点がございましたら、お買い上げの販売店へお申し付けください。

番号	品名	数量
①	ナビゲーション本体	1
②	スタンド (取付シュー付)	1
③	リモコン	1
④	リモコンホルダー	1
⑤	両面テープ (リモコンホルダー用)	1
⑥	TV・FM多重アンテナ左右	各1
⑦	TV・FM多重アンテナコード左右 (4.2 m)	各1
⑧	GPSアンテナ (コード90 cm)	1
⑨	家庭用スタンド	1
⑩	AVコード	1
⑪	電源コード (2 m) (オートマチック車用コード付)	1
⑫	シフト側センサー	1
⑬	バンド	1
⑭	両面テープ (らくらくパーキングコード用)	1
⑮	マニュアル車用コード	1
⑯	コードクランパー (らくらくパーキングコード用)	2
⑰	コードクランパー (TV・FM多重アンテナ用)	10
⑱	作業用ヘラ	1
⑲	クリーナー (TV・FM多重アンテナ用)	1
⑳	アース板保護シール	2
㉑	単3形乾電池	2
㉒	金属シート	1
㉓	圧着式コネクター	1
㉔	クリーニングクロス (ディスプレイ用)	1
㉕	コードクランパー (電源コード用)	5
㉖	コードクランパー (GPSアンテナ用)	2
㉗	クリーナー (ダッシュボード用)	1
㉘	タッピンねじ	5
㉙	クッション材	1
㉚	ACアダプター本体	1
㉛	ACコード	1
●	取扱説明書 (ACアダプター用)	1
●	基本操作ガイド (ナビゲーション用)	1
●	取扱説明書 (ナビゲーション用)	1
●	補足説明書 (ナビゲーション用)	1
●	取付説明書 (ナビゲーション用)	1
●	地図ディスク	1
●	ファーストステップガイドビデオ	1
●	仮保証書兼ユーザー登録ハガキ	1

※リモコンの取り付けかたと電池の入れかたは、取扱説明書をご覧ください。

取り付け・配線の前に

- 取り付ける前に内容物をご確認ください。(※左記)
- 取り付けには、一般工具、カッターナイフ、布きれなどが必要です。
- ボルト、ナット、ねじの取り付けは寸法があった工具を使用し、まっすぐ確実に行ってください。
- 別売の機器でシステムアップする場合には、必ず指定品をお使いください。(※取扱説明書「他の機器(別売品)と組み合わせて使う」)
また、各機器の説明書をよくお読みになり、正しく使用してください。
- 作業終了後、確実に取り付け・配線されていること、および車の電装品が正しく動くことを必ずご確認ください。(※右記)

作業の順序

- ① バッテリーの⊖端子をはずす。
- ② 配線する。
 - 他の機器と接続する場合は、各機器の説明書も併せてよくお読みのうえ、配線してください。
 - ショート事故防止のため、電源コードのコネクターは、必ず全ての配線をすませてから接続してください。
- ③ 取り付ける。
- ④ バッテリーの⊖端子を、もとに戻す。

配線・取り付けの作業時には、安全のため必ず手袋を使用してください。

お願い

- エアバッグや盗難防止システムなどの保安装置を装備した車両に取り付ける場合は、車両メーカーに作業上の注意事項を確認してから作業を行ってください。不用意にバッテリーをはずすと、保安装置が誤動作したり、動作しなくなる場合があります。

松下電器産業株式会社

パナソニック オートモーティブシステムズ社

〒224-8539 横浜市都筑区佐江戸町600番地

お客様ご相談センター 電話 ☎ 0120-50-8729

一般電話 045-929-1265 (携帯電話・PHSなど)

FAX 045-938-1573

受付 9:00~17:00 (土・日・祝日・当社休日を除く)

※一般電話、およびFAXをご利用の際の通信料は、お客様のご負担となります。

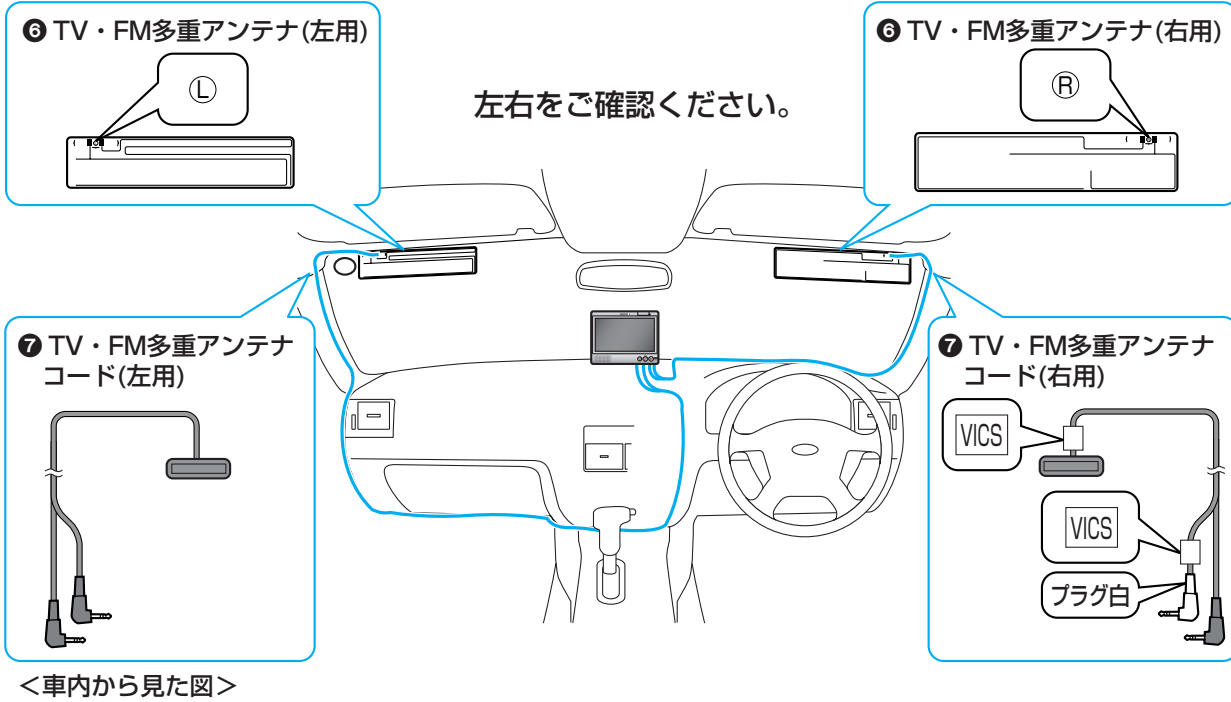
© 2006 Matsushita Electric Industrial Co., Ltd. All Rights Reserved.

YEFM294219 F0606-0

TV・FM多重アンテナの取り付けかた

取り付ける前に

- アンテナは、運転者の視界を妨げない位置に、はがれないようしっかり取り付けてください。
- 車種によって、取り付けても性能が発揮できない場合があります。熱線反射ガラスや断熱ガラス、電波不透過ガラスなど電波を通さないガラスを使用した車種の場合、受信感度が極端に低下します。お買い上げの販売店にご相談ください。
- 仮止めして、アンテナを取り付ける位置(左右の位置)を確認してください。(貼りなおせません) 付属のクリーナー(TV・FM多重アンテナ用)で、設置面(ガラス面、ピラー)の汚れ(ごみ、油)などをきれいに拭き取ってください。
- 妨害を防ぐため、他のアンテナから、10 cm以上離して取り付けてください。

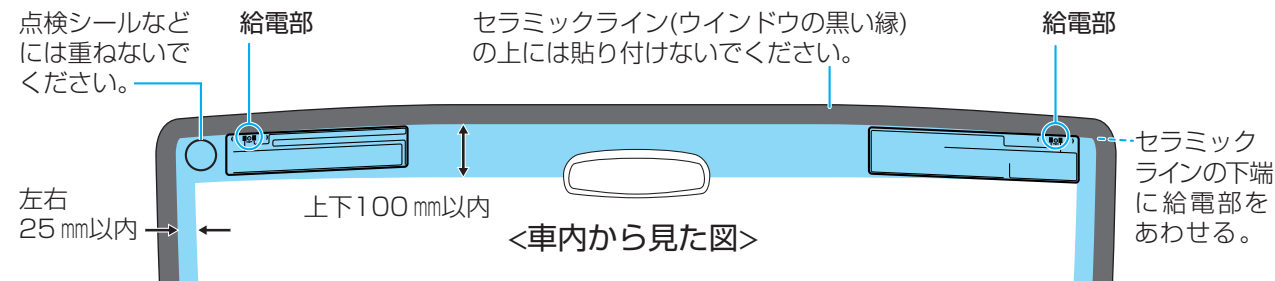


■ 取付許容範囲 (部) について

国土交通省の定める保安基準※に適合するように、アンテナの給電部は、取付許容範囲内に取り付けてください。

- 左ハンドル車に貼り付ける場合も、下図のとおりに取り付けてください。(左右逆に貼らないでください。)

※保安基準とは、道路運送車両の保安基準第29条第4項第7号に対する、平成11年12月27日付の運輸省(当時)告示第820号をいいます。

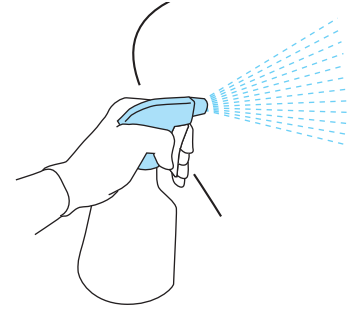


左用のアンテナの取り付けかたを例に説明しています。
右用のアンテナも、左側と同様に取り付けてください。

1 フロントウインドウにアンテナを貼り付ける

- 折り曲げたり、引っ張ったりしないでください。断線の原因になります。

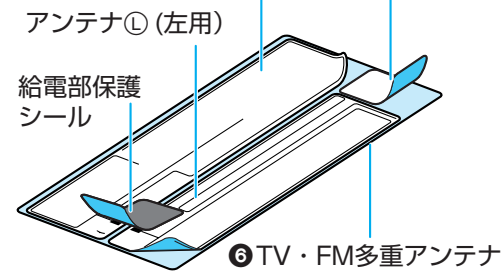
- ① 霧吹きなどで、車内側のガラス面に均一にせっけん水を吹き付ける。



- 水500 cclに対して中性洗剤1~2滴が適量です。

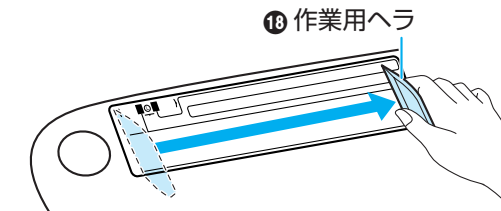
- ② アンテナをはがし、貼り付ける。

コードの貼り付けかたの説明書き
アンテナ®(右用)



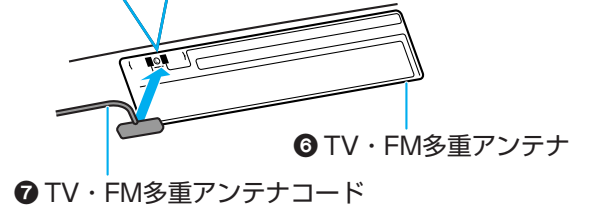
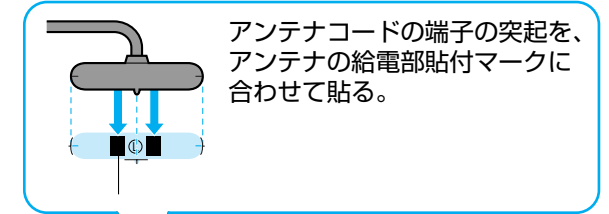
- ③ 作業用ヘラでアンテナの気泡を取り除いて、密着させる。

- アンテナ周辺のせっけん水を拭き取り、十分に乾燥させてください。(2~3時間放置する。)



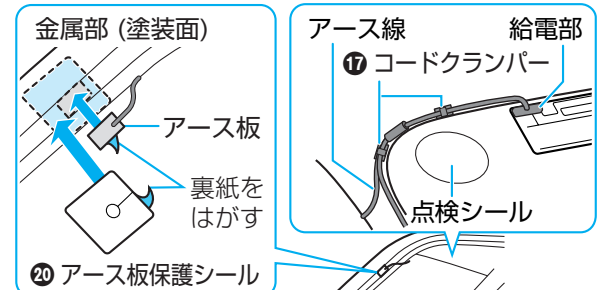
2 アンテナコードを取り付ける

- ① アンテナコードの給電部を、アンテナに貼り付ける。



- ② アース板を前席ドア内側などの金属部(塗装面)に貼り付けて、コードを引き回す。

- 金属部の塗装をヤスリなどではがす必要はありません。



- ③ アンテナコードをナビゲーション本体に接続する。(裏面)

- ナビゲーション本体や他のコード類からできるだけ離してください。また、束ねたり重ねたり交差させたりしないでください。テレビ、FMラジオの音声に雑音が入る原因になります。

ナビゲーション本体の取り付けかた

取り付ける前に

ナビゲーション本体をスタンドに仮止めし、取り付け位置を確認してください。
貼りなおすと粘着力が弱くなります。

- 付属のダッシュボード用クリーナーで設置面の汚れ(ごみ、油など)をきれいに拭き取り、湿気を乾かしてください。
- 気温が低いときは、設置面をドライヤーなどで温めてください。

■ 取付位置について

- 指定のスタンドを使用し、はずれたり落下しないように、しっかり取り付けて安定させてください。
- 下記のような場所には絶対に取り付けしないでください。落下する原因になります。

● 貼付面全体が密着しないような強い曲面		● 不安定な場所	
● 約30°以上傾いた場所 (推奨15°以下)		● 垂直な面	

スタンドの破損に至る場合があります。

1 スタンドの向き・高さを調整する

調整後、しっかりと締める

調整後、しっかりと締める

2 ナビゲーション本体をスタンドに仮止めし、取り付け位置を確認する

① 取付シューを取りはずす。

輸送用の保護シートをはずす (はずした保護シートは使用しません)

レバーを引く

② ナビゲーション本体に取付シューを取り付ける。

ナビゲーション本体の穴を、取付シューの突起に合わせる。

ナビゲーション本体 (底面)

取付シュー

締める

しっかりと締める

⊖ドライバー

③ ナビゲーション本体をスタンドに取り付ける。

ゆるめる

レバーを引く

レバーを戻す

ナビゲーション本体にゴムの部分を均一にあてる

④ 高さや向きを確認してから、スタンドからナビゲーション本体をいったん取りはずす。

3 スタンドをダッシュボードに取り付ける

① スタンドをダッシュボードに取り付ける。

- スタンドを設置面に強く押し付けて、確実に密着させてください。
- 安全のため、**付属のねじで固定してください。** (ダッシュボードに穴が開くことをご了承ください。)

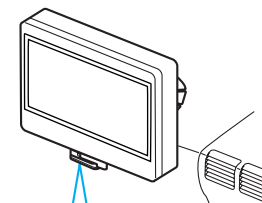
28 タッピングねじ (5カ所)

裏紙をはがす

- 固定力を強くするため、ナビゲーション本体を取り付けずに24時間以上放置してください。
- 設置面 (ダッシュボード) が平らでないときはスタンドをダッシュボードの形状に合わせて曲げてください。

24時間以上経過したら...

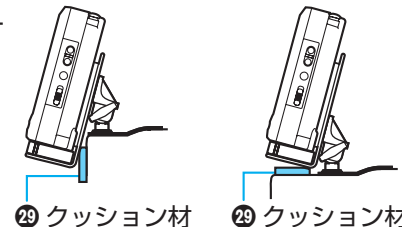
② ナビゲーション本体をスタンドに取り付ける。



ダッシュボードに取付ステーが近接するときは

- 振動でノイズが発生する原因になります。クッション材を貼り付けてナビゲーション本体を安定させてください。

— 取付例 —



GPSアンテナの取り付けかた

取り付ける前に

- 設置面の汚れ (ごみ、油など) をきれいに拭き取り、湿気を乾かしてください。
- 気温が低いときは、設置面をドライヤーなどで温めてください。
- 妨害を防ぐため、他のアンテナから、10 cm以上離して取り付けてください。

中央部のガラス付近に水平に取り付けてください。

GPSアンテナ

22 金属シート 裏紙をはがす

20 cm以上

26 コードクランパー 要所を固定する。

お願い

- 金属シートは、
 - ・必ず、付属の金属シートを使用してください。
 - ・折り曲げたり、切って小さくしないでください。
- あまったアンテナコードをまとめるときは、ナビゲーション本体から30 cm以上離してください。
- GPSアンテナに時計や磁気カードを近づけないでください。故障したり、使えなくなる場合があります。

お知らせ

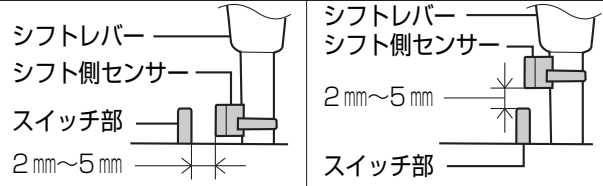
- 電波状態によっては自車位置を誤って表示することがあります。
- 車体の形状や電波を通さない一部のガラスにより、電波がさえぎられることがあります。そのときは、別売のGPSアンテナ [CA-GP50D (5 m)] を使って、GPSアンテナを車外に取り付けてください。詳しくは、お買い上げの販売店、またはお近くの「サービス相談窓口」にご相談ください。
- 自車位置の測位精度をさらに高めたいときは、別売の自立航法ユニット (CY-SG50D) を使用してください。

配線のしかた

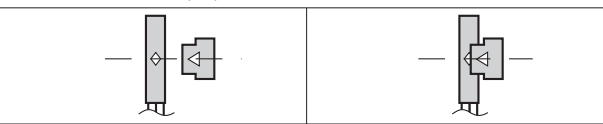
オートマチック車の場合

シフト側センサーとスイッチ部の取付位置について

側面図 シフト側センサーとスイッチ部の間隔が2mm~5mmになるように取り付ける。



上面図 シフト側センサーの目印(△)とスイッチ部の目印(◇)が一直線になるように取り付ける。



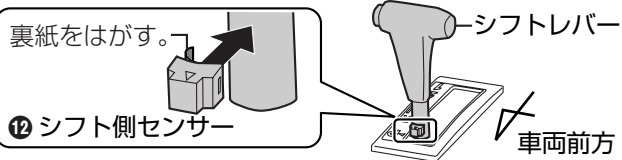
お願い

- シフト側センサーは磁気を帯びています。時計や磁気カードなどに近づけないでください。(時計や磁気カードが故障したり、使えなくなることがあります。)

お知らせ

- 車種によっては下記の方法で取り付けられない場合があります。そのときは、マニュアル車と同じ方法で取り付けてください。(※右記)

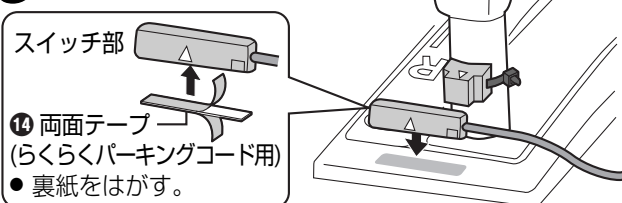
1 シフトレバーをパーキング(「P」)の位置にして、シフト側センサーをシフトレバーに貼り付ける。



2 シフト側センサーの穴にバインドを通し、しっかりと縛りつける。

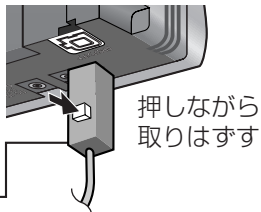
- バインドが長すぎる場合は、縛りつけたあと、はさみなどで切り取ってください。

3 サイドブレーキコードのスイッチ部を貼り付ける。

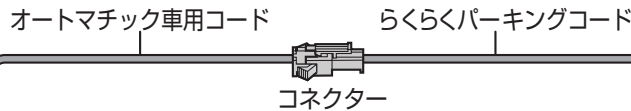


ロック付きコードの取りはずしかた

- 無理に引っ張ると、破損することがあります。必ず、ロックが解除されていることを確認してから取りはずしてください。



6 GPSアンテナ (コード 90 cm)



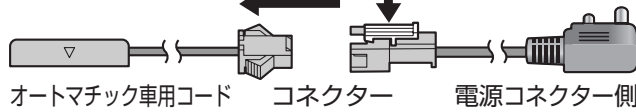
お願い

- サイドブレーキコードは、必ずお使いの車(オートマチック/マニュアル)に応じて正しく接続してください。正しく接続し、サイドブレーキを引いていない場合には、操作が制限されます。

マニュアル車の場合

1 電源コードのスイッチ部を取りはずす。

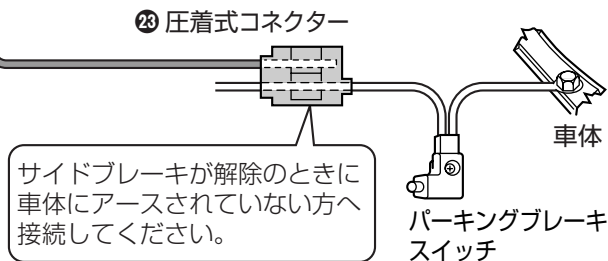
- 1 押しながら
- 2 取りはずす



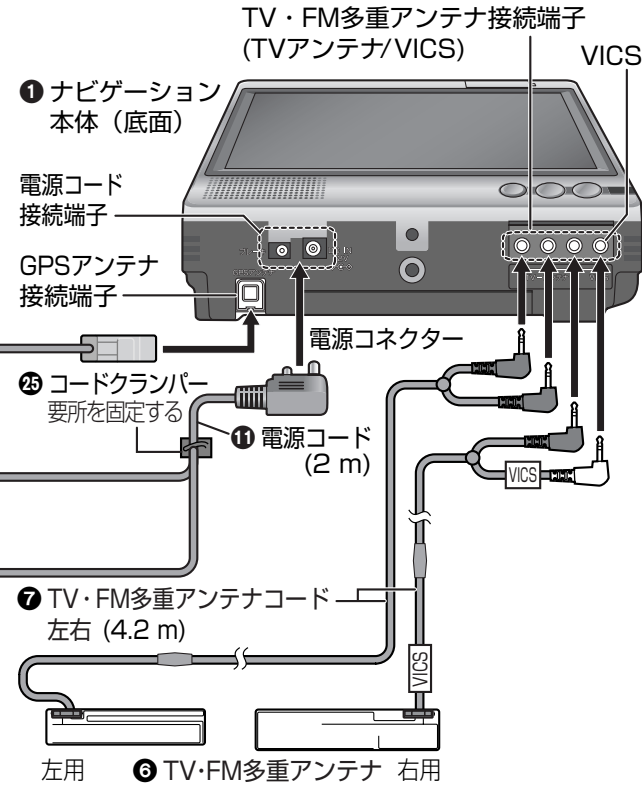
2 電源コードにマニュアル車用コードを接続する。



3 圧着式コネクタで、マニュアル車用コードサイドブレーキスイッチに接続する。



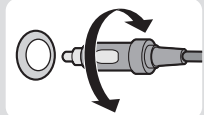
サイドブレーキが解除のときに車体にアースされていない方へ接続してください。



お願い

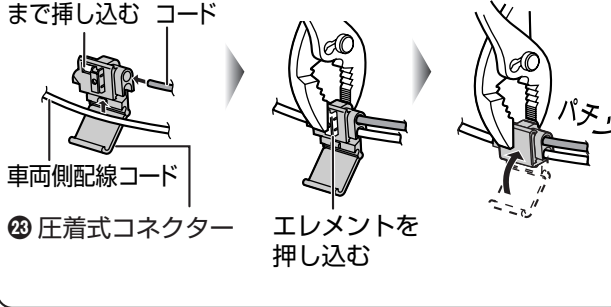
- 24V 車用DC・DCコンバーターは使用しないでください。
- 電源プラグは、車のシガーライターソケットの奥までしっかりと押し込んでください。(接触不良の原因になる場合があります。)
- 一部の車種では、電源プラグを差し込む角度によって、接触不良を起こしたり、通電しなくなる場合があります。

そのときは、シガーライターソケットの端子の位置を確認し、電源プラグを通電する角度に調整してください。



圧着式コネクタの取り付けかた

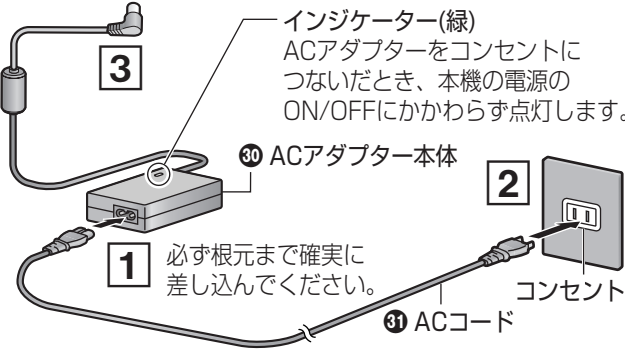
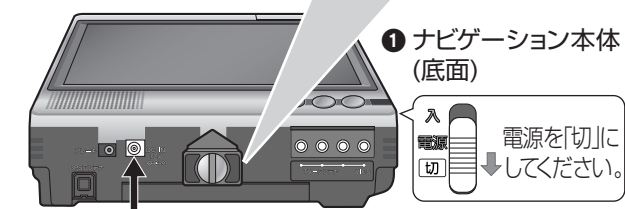
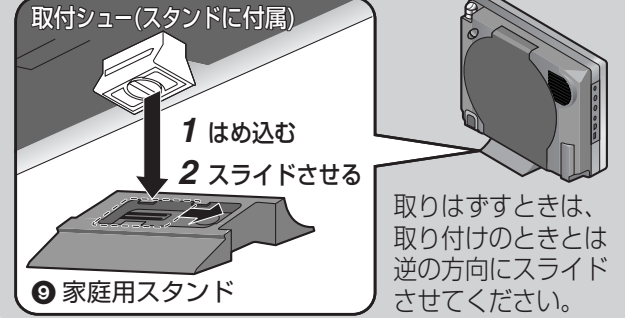
突きあたり サイドブレーキコード



ACアダプターと接続する

家庭用のコンセントに接続して使うことができます。

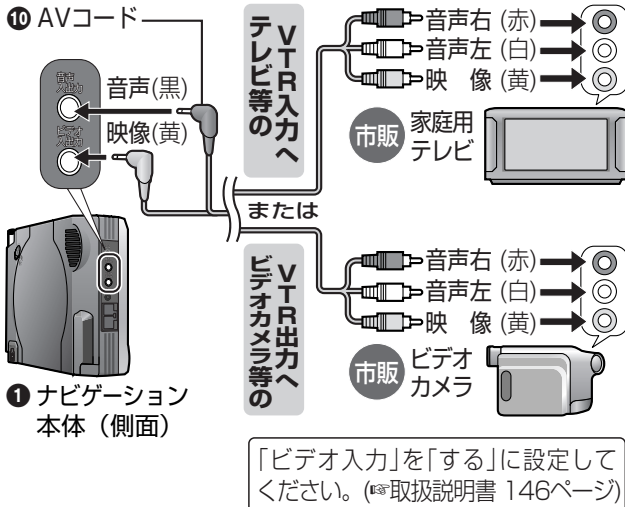
倒れないように、家庭用スタンドを取り付けてください。



1→2→3の順に接続する。(取りはずしは3→2→1の順)

AVコードと接続する

「外部接続」を「有り」に設定してください。(※取扱説明書 148ページ)



「ビデオ入力」を「する」に設定してください。(※取扱説明書 146ページ)

取り付け・配線の確認

下記の手順で取り付け・配線を確認してください。

1 電源を入れる

1 ナビゲーション本体をスタンドから取りはずし、ディスクを入れる。

① 電源を切った状態で を押す。

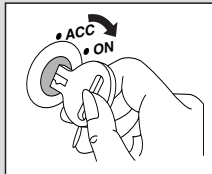
② 地図ディスクを入れる。

- 印刷面を外側に向け、ディスクの穴をディスクホルダーにはめ込んでください。

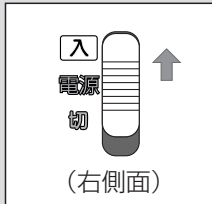
③ ディスクカバーを閉める。

- 確実に閉めてください。

2 車のエンジンをかける。またはACCに入れる。

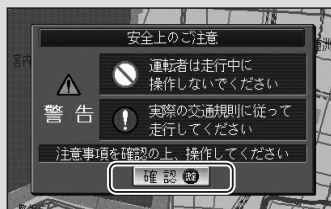


3 ナビゲーション本体の電源スイッチを「入」にする。



4 注意事項を確認して、「確認」にタッチする。

- オープニング画面表示後、警告画面が表示されます。
- オープニング画面表示中は、車を発進させないでください。システムを起動する準備をしています。



5 見通しの良い場所でGPS信号 (GPS) を受信していることを確認する。(取扱説明書「準備・確認」)

- GPSマークが表示されないときや点滅が継続するときは、受信状態を確認してください。



2 車両信号を確認する

1 を押す。



2 「情報・設定」→「システム情報」にタッチする。



3 「車両信号情報」にタッチする。



4 確認する。



車両信号情報画面

GPSアンテナ	ON表示になっていますか？
リバース	別売のリヤビューカメラ(CY-RC50KDなど)を接続※している場合、シフトレバーをR(リバース)に入れると、ON表示に変わりますか？
サイドブレーキ	サイドブレーキを引くと、ON表示に変わりますか？
スピード	自車の速度を表示します。
ACC電圧	約12Vになっていますか？

※ 接続には、別売のリヤビューカメラ接続ケーブル(CA-LRC10D)が必要です。

● 手順3で「拡張ユニット情報」を選べると拡張ユニット情報画面が表示されます。



3 拡張ユニット・SDメモリーカードを確認する

■ 別売の自立航法ユニット(CY-SG50D)を接続している場合

車両信号情報画面を表示する。(左ページ)



- ① 「パルスリセット」にタッチして、「車速パルス」をリセットする。同じように、「学習レベル」「ジャイロ角度補正」もリセットする。
- ② 現在地画面を表示させ、平均時速20 km以上で見通しの良い場所をしばらく(60分以上)走行したあと、「車速パルス」「学習レベル」「ジャイロ角度補正」を確認する。

車速パルス*	リセットすると「0」になります。走行後、数字が変化していますか？
学習レベル	リセットすると「レベル1」になります。走行後、数字が変化していますか？(レベル3が最大)
ジャイロ角度補正	リセットすると「未補正」になります。走行後、「補正完」になっていますか？

※ 車から出力される車速パルスに一定の係数(車速補正係数)をかけて距離を算出し、より正確な自車位置を地図画面上に表示させることができます。(全自動距離補正システム)

お知らせ

- 自立航法ユニットを本機に接続していない場合は、「車速パルス」「学習レベル」「ジャイロ角度補正」をリセットできません。(「未接続」と表示されます。)
- 次の場合にも「車速パルス」「学習レベル」「ジャイロ角度補正」をリセットしてください。
 - ・別の車に本機を載せかえた
 - ・違うタイヤに交換した
 - ・タイヤをローテーションした
 - ・自立航法ユニットを移動した場合
- 車種によっては、スピードをあげると自車マークが動かなくなることがありますが、補正処理を行っている間は故障ではありません。
- 市街地などで渋滞・停車を頻繁に繰り返すコースや右左折が多いコース、またGPS信号を受信しにくいコースでは補正処理に時間がかかり、学習内容に誤差が出ることがあります。

以上で取り付け・配線の確認は終了です。

不完全な項目があるときは、正しく取り付け・配線されていない可能性があります。再度取り付け・配線を確認してください。

■ 拡張ユニットの接続やSDメモリーカードの挿入を確認する

拡張ユニット情報画面を表示する。(左ページ)



メモリーカード	別売のSDメモリーカードを挿入すると、ON表示に変わりますか？
ビーコンユニット*1	別売のVIC5ビーコンユニットを接続している場合、ON表示になっていますか？
ジャイロユニット*2	別売の自立航法ユニットを接続している場合、ON表示になっていますか？
リヤカメラ*3	別売のリヤビューカメラを接続※4している場合、ON表示になっていますか？

※1 CY-TBX55D ※2 CY-SG50D ※3 CY-RC50KDなど ※4 接続には、別売のリヤビューカメラ接続ケーブル(CA-LRC10D)が必要です。(2006年3月現在)

■ FMトランスミッター機能を確認する

FMトランスミッターを使用する場合は、「本体スピーカー出力」を「ナビ音声専用」に設定してください。(取扱説明書「音声/映像の設定を変える」)

- ① FMラジオの受信周波数をFM76.0 MHzに合わせる。
- ② テレビ画面に切り替える。
- ③ テレビの音声FMラジオのスピーカーから聞こえるかを確認する。

● 本機の取り付け位置や車のFMアンテナの位置によっては、FMトランスミッターが受信しにくく、音声が雑音が入る原因になります。

お願い

- FMトランスミッターがラジオ放送と混信するときは、FMトランスミッターの周波数を変更してください。(取扱説明書「音声/映像の設定を変える」)
- FMトランスミッターを使用しないときは、「しない」に設定してください。(取扱説明書「音声/映像の設定を変える」)
- ノイズ防止のため、TV・FM多重アンテナのコード、GPSアンテナのコード、電源コードはナビゲーション本体や他のコード類からできるだけ離してください。また、束ねたり重ねたり交差させたりしないでください。テレビ、FMラジオ、FMトランスミッターの音声が雑音が入る原因になります。